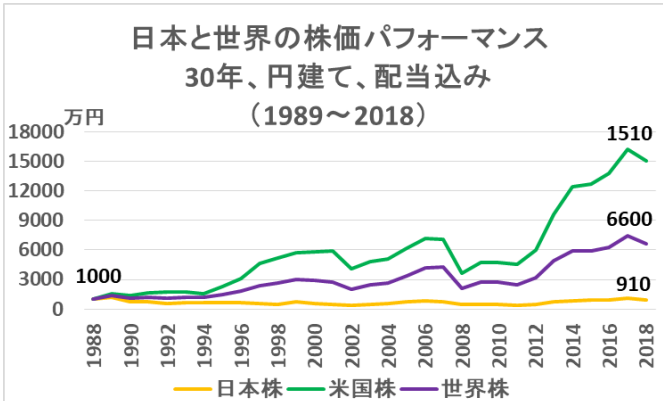


## ATTENTION

### 30年前に株に投資して、この彼我の差



	日本株	米国株	世界株
<b>リスク</b>	24.0%	23.0%	21.2%
<b>年利回り</b>	-0.3%	9.5%	6.5%

日本株: TOPIX 米国株: S&P500 世界株: MSCIワールド

このグラフと表を見て、皆さんは何を感じるでしょう。30年前に株に投資して、今まだマイナスという状況になったとしたら、これは悲劇です。配当金も全部再投資に回しても、マイナス。それが実際に日本で起こりました。日本株の話です。30年前に1000万円投資して、現在910万円。さて、日本株を含む世界株に投資していたら、どうだったでしょう。1000万円が6600万円になっています。さらに米国株に至っては、まさに人生が変わるレベルのパフォーマンスです。1000万円が1億5100万円。そしてもっと驚くことは、30年前に投資していまでもマイナスの日本株が、一番リスクが高かったのです！そのデータを見て、こういう人もいます。「これまではそうだったが、これからはわからない。」そしてそういう人は、これからも世界株や米国株に投資しないまま行ってしまう可能性が高いです。しかし、それはおそらく大きな間違いです。このデータは、国際分散投資が、コストをかけずにリスクを減らし、より高いリターンを得られることを明らかに示しています。

## OPINION

### 香港の自由を守ろうとする若者を応援しよう！

香港では、いま民主化デモが常態化し、その進展が大変危惧されています。特に中高生から始まる若者が抗議活動の中心になっています。香港は、世界の経済自由度指数で常にトップの地位を占めているのですが、その自由度が脅かされる深刻な事態になっています。一国2制度のもと、自分自由が確保できるとみていたのが、逃亡犯条例(問題人物を中国に引き渡す条例)が契機となり、抗議デモが激化しました。覆面を被った人物を逮捕できる覆面禁止条例が実施されるに至って、中国の香港取り込み政策がいよいよ本性を現した形です。

これまで自由を謳歌し、それを当然のものとして育った若者が、中国政府の香港取り込み政策に嫌悪感を覚えるのは当然です。トランプ政権は中国をけん制、米国議会の香港民主化運動支持決議などにより、後押しする動きもあります。中国への外圧は、香港民主化運動にとって強い後ろ盾となります。しかし、まだその動きは不十分です。

いま香港では、移住を決める人も増えているといえます。国に見切りをつける。大変悲しいことです。香港への中国のスタンスを見て、台湾の独立堅持をスローガンに掲げる台湾の政権党の支持率は急上昇しているとのこと。

香港の自由を守ろうとする若者を応援しています。外からは、そのくらいできませんが、それが彼らにとって最も大きな後ろ盾となるのです。香港の若者たち、がんばれ！

## MARKET

	(10月末)	(9月末比)
日経平均	22,927.04円	+1,171.20円 (+5.38%)
NYダウ	27,046.23ドル	+129.40ドル (+0.48%)
米ドル	108.05円	-0.10円 (-0.00%)

## 今月の言葉

われわれをもっとも直接的に幸せにするものは、すべての主観的な宝の中で、性格の朗らかさである。

多く笑うものは幸福であり、多く泣くものは不幸である。

-ショーペン・ハウエル

## フィンテックでアドバイスの価値は上がらない。結局は“信用”

先日ノーベル経済学賞受賞のロバート・マートン教授のセミナーに参加する機会がありました。その話の内容が大変示唆に富む内容でしたので、紹介しましょう。

このところ、フィンテックやロボアドバイザーの導入で、対面のアドバイス・サービスは必要なくなるというような見方があるが、果たしてそうか、むしろフィンテックの進歩は対面のアドバイスの価値を高めるとマートン教授は主張します。

なお、マートン教授が言う対面のアドバイス・サービスとは、フィー・オンリー(助言料を受け取るだけの)アドバイス・サービスのことを言います。

以下、マートン教授のセミナーでの講演内容:

フィンテックの発達で、運用パフォーマンスの評価は容易にできるようになり、サービスを利用する側にとっては透明性が増した。したがって透明性あるパフォーマンス評価には信用(Trust)は必要ない。一方でフィンテックだけでは、運用アドバイスのように、本質的に不透明な(透明化できない)サービスには対抗できない。医療サービスがまさにそうで、そのサービスを提供する唯一の方法は、信用を通じて、だ。テクノロジーは信用の代用とはならない。

テクノロジーの進歩は、“信用資産”を持つサービス提供者にとって、ビジネス機会を奪われるというより、むしろ拡大させるチャンスを与える。フィンテックなどテクノロジーが成功するためには、それ自体では信用を創り出せないのだから、信用資産を持つサービス提供者と組む必要がある。

優れた運用アドバイスをできるか評価するのに、運用パフォーマンスに基づくとすれば、20年、30年の評価期間でも判断がむずかしいので、パフォーマンスだけで評価するのは困難だ。“信用資産”を持つサービス提供者か否か、これが、選択の大きな判断ポイントになる。

透明性を求める傾向は、インデックスファンドや上場投資信託などの大幅な流入超、積極運用型投資信託の大幅な流出超に見える。2007年から2016年、インデックスファンドや上場投資信託には7000億ドルが流入し、積極型投資信託からは1兆ドル以上も流出した。

信用を創り出し、利益相反を最小限にする、フィー・オンリー(助言料を受け取るだけの)アドバイザーが、金融商品を売りさばき、2008-2009年の金融危機で信用を失った従来の銀行や保険会社の脅威となっていくだろう。

私は、マートン教授がいう、フィー・オンリーのアドバイザーですが、日本にはあまりにもこのフィー・オンリーのアドバイザーが少ないのが実態です。むしろIFAやフィーベースのアドバイザーなど、実際には金融商品から手数料をキックバックで受け取る、まがいものアドバイザーが跋扈する状況です。マートン教授がいう“信用”、この言葉は私にとっては大いに勇気づけられる言葉ですが、日本の資産運用でいま最も心しておくべき言葉だといえます。

【マートン教授のプロフィール：オプション・プライシング方程式のブラック・ショールズ・モデルを数学的に証明し、1997年にノーベル経済学賞を受賞。】

## SEMINAR

### びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える 『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がありますますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年の投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！



日時：2019年11月23日(土・勤労感謝の日)15:00~17:00

場所：東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールにて「11月23日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。

メール送信先：info@bfsc.jp

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386 FAX: 050-3156-1072  
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp